

グループホーム 玄海の森

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		今後、日常的にお付き合いしていくことができるように、働きかけの機会を増やしていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の中で民生委員や地域包括支援センターの方から地域高齢者等の話を伺うことがあるが、積極的な取り組みは行っていない。		グループホームとして、認知症ケアについての相談を気軽に受けることができるよう考えていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義・目的について職員に伝達、自己評価は職員それぞれに記入してもらい、一つにまとめている。		自己評価や外部評価結果はグループホームに関わる方、皆で共有し、改善への手がかりとしていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者の状況・サービスの報告の他、毎回テーマを決めて紹介や話し合いを行っている。その中で出た意見や助言は議事録に明記し、職員に伝達、改善に向けて取り組みを行っている。		取り組みの内容や改善状況については、次回以降の会議で報告していくようにしている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外で継続的な関わりを持っているとはいえないが、課題や疑問点が生じた際には相談・質問を行い、指導や助言をお願いしている。又、介護サービス相談員の受け入れを2回/月行っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者が外部研修やグループ内会議に参加し、資料をそろえている。ご家族等より希望があった際や必要性が感じられる入居者のご家族には、パンフレットをお渡しする等の情報提供を行っている。		現在、入居者で活用されている方はいないが、必要が生じた際にすぐに対応できるように準備を整えておきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルは作成しているが、研修は未開催である。日々の介護の中では「心身の状態に変化はみられていないか」「入居者へ接する態度がどうであるか」等を職員同士が互いに確認しあっている。		虐待防止を徹底するため今後、勉強会を行っていく必要がある。

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時(又は解約時)にはその内容や重要事項について一つ一つ説明を行っている。不安や疑問点はその都度お聞きし、理解・納得をいただいた上で契約(解除)を行うようにしている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>余暇時や少人数での外出時を利用し、職員と1対1で談話する機会を持ったり、意見箱を設置している。 又、月2回、介護訪問相談員の受け入れを行っており、意見・苦情等を表しやすいきっかけを作っている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1回、ご本人の体調や様子、ホームの変化等について個別にお手紙・写真を送付している。 また、病院受診した際や金銭管理についてお知らせがある際等はその都度、電話や面会時に報告を行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や介護計画書説明時に、意見や苦情等がないかお尋ねしている。直接言いづらい方は、玄関ホールに意見箱を設置していること、公的窓口も利用できることを入居時や必要時にお話している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティングや日々の介護の中で、意見や提案はないか尋ねるようにしている。 意見や提案があった際は皆や管理者で検討し、運営に反映することができるよう努力している。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事や外出の際は十分な職員人数を確保することができるよう、職員の協力を得て調整を行っている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>数ヶ月に1度、ユニット間の職員異動を行っているが、入居者へのダメージが少なくすむよう、日常的にユニット間の交流を図り、馴染みの関係作りに努めている。</p>		<p>異動等で新しい職員が入る際は、入居者と初期の馴染の関係が築けるまでは、馴染みのスタッフと対で行動していきけるよう心がけたい。</p>

グループホーム 玄海の森

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては、性別・年齢不問としている。職員個々が得意とすることを活かしていくことができるよう、月の行事等の内容は担当者に決めてもらっている。又、資格取得・キャリアアップに関する研修時は勤務調整の希望にできる限り応じている。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>具体的な人権教育や啓発活動は行っていないが、日々のケアの中で人権を無視するような発言や行動が見られた際には注意・指導を行っている。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入社時には、マニュアルや資料を配布し、勉強会を行っている。また、職員個々に対する研修計画は立てていないが、可能な限り、段階や経験年数に応じた研修に参加することができるよう配慮している。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修の際に、パンフレットや名刺を持参し、他の事業所の方とも積極的に話をして交流を持てるようにしている。</p>	<p>今後、交流を持てた同業者との相互見学や勉強会へつなげていきたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>ユニット間の職員が共に休憩を取ることで、悩みの相談や気分転換が図れるようにしている。又、勤務においては月に1度は2連休を組み、リフレッシュを図っている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各自、スキルアップを目指し、資格取得に取り組んでいる。日々の努力や成果は認め、直接本人へ声をかけることで自信や向上心を高めることができるように努めている。</p>	

グループホーム 玄海の森

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前には必ずご本人と面談を行い、不安や希望について尋ねるようにしている。どんな話であってもまずは否定や意見せず傾聴するように心がけている。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>これまでのご家族の思い、今後に対するご家族の思いや希望を引き出すことができるように話に傾聴している。</p>		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・家族が今現在必要としているサービスは何かを状況や会話から探り、その状況に応じては他サービスの紹介を行ったり、在宅介護の相談にのることもある。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの雰囲気や様子を感じていただくため、ご本人との面談後、体験入居をすすめている。 ご本人の性格面や生活環境を十分に考慮し、個々のペースで馴染んでいけるように、家族等と密に連絡を取り合いながらすすめている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは入居者から家事等について教えてもらい、入居者はスタッフから機能維持や生活についてのアドバイスを受け、という支え合いの関係がある。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の心身状態や日頃の様子等については面会の都度ご報告するようにしている。発生したニーズやリスクについては、今後どういうケアを行い支えていけばよいか、共に話し合うようにしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人や家族等の話からその関係性を理解し、面会回数を増やして頂いたり、少し距離を置いて頂く等のお願いをすることがある。また、家族間で思いが上手く伝わっていないような際はスタッフが橋渡し役となり、より良い関係を築いていくことができるように支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	通い慣れたスーパーへ買い物に出かけたり、以前利用していたデイサービスや施設等を訪問する等して、馴染みの関係を継続できるように支援している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の家事やレクリエーション等を利用し「共同」で何かを製作・達成できるきっかけを作っている。 たとえ気の合わない方同士であっても、席を隣にしてみる等して接点を持てるよう計らっている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在までにサービス利用が終了した方はいない。		退居後も相談を受けたり面会へ行ったり等関係の維持に努めたい。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント時に口頭で尋ねるのはもちろんのこと、普段の言動や表情からも思いを汲み取ることができるよう努めている。		
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人及び家族等へ生活歴シートを記入して頂いている。入居後に判明した事柄も追記で記入し把握に努めている。		今後、全面的にセンター方式を取り入れることができるように検討していきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントツールを使用し、事実を記入していくことで総合的な把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画立案時には、本人・家族等の意向やスタッフの意見・アイデアを尋ねるようにしている。出された意向やアイデアは介護計画に反映している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行っている。病院退院後の再入居等で状態に変化が見られる際や要介護度の変更時には早急に見直しを行っている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の身体状況から精神面・話した内容等を具体的に記録に残し情報を共有、ケアや介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の状況や希望にできる限り対応できるよう心がけている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年に2度、消防署の協力を得て避難訓練を実施、指導・助言を受けている。 又、行事の際には小学校や児童クラブ等と行き来しあう協力体制がある。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	意向や必要性があれば関連施設や在宅時に関わっていたケアマネジャーと連携を図るようにしている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ、運営推進会議以外に協働体制はない。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認し、引き続き診療を受けることができるよう説明を行っている。協力病院の受診や、受診時に報告しておきたいこと・指示を仰ぎたいことがある際には職員が同席したり、情報提供書をお持ちする等して、かかりつけ医との連携を図っている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	心身の状態、認知症状に変化が見られる際はご家族・かかりつけ医へ相談し、必要に応じて専門医を紹介して頂いている。受診時には職員が同席し、情報提供や相談を行っている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療に関する相談や疑問等については、同施設内や関連施設の看護師へ連絡を取り、情報を支援に活かしている。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者が入院された際はこまめに面会へ訪問し、病院関係者・家族等との情報交換・状態把握に努めている。又、病院へは本人・ご家族等の同意を得て、個人のケア情報を提供し、できる限り変わらないケアを受けることができるように支援している。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	心身状態の重度化については可能な限り、ホームでの生活が継続できるよう考えているが、明確な基準や方針は定めていない。終末期のあり方についても現在のところ具体的な取り組みは行っていない。		明確な基準や方針を定めることができるように、職員で話し合っていきたい。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	症状について、本人・家族等・医師と話し合いを行い、医療行為が行えないグループホームでどのような点に注意してケアを行っていけばよいか検討している。容態が悪化した際の対応については協力医療機関との連携を図っている。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在までに住み替えをされた方はいないが、居所住み替えの際は、新居所見学に同席させていただき、雰囲気や生活の様子等、本人に合う選択ができるように支援していく。		

グループホーム 玄海の森

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては、入居時に誓約書を交わし、書庫に施錠するなどして情報の漏洩防止に努めている。又、言葉遣いや対応については日頃から敬いの念を持って接することができるよう職員間で確認しあっている。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>会話や問いかけを行う際は個々の理解力にあわせて短く簡潔に説明を行うようにしている。答えをせかしたり、矢継ぎ早に質問することのないよう注意しながら入浴や外出場所等の自己決定を支援している。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな一日の流れは決めており、ある程度は流れに沿っているが、その日の体調や思いを考慮して変更・見学されることも可能であり、無理強いはしていない。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理・美容については全員が訪問理美容サービスを受けられている。その中でも、以前入居されていたケアハウスの美容師さんに来て頂いたり、カラー・パーマ等本人の好みに合わせて施行して頂いている。又、入浴時・外出時の衣類はできる限り本人に選んでいただくようにしている。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の力に合わせて調理や味見・盛り付け等をお願いし、共に作りあげていくことで、食事に対する意欲を引き出している。又、月に1～2回は食べたいものを皆で決めて作ったり、出前・外食を行っている。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>過剰摂取にならないよう、スタッフが声かけ・観察を行いながら、好みの飲み物・おやつ等を購入・摂取して頂いている。又、行事の際には少量ずつアルコール類もお出ししている。</p>	

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し、トイレへ行かれた都度記入を行って、排泄パターンの把握に努めている。 又、排泄失敗時やオムツ使用時は自尊心を傷つけることのないよう言葉に注意しながら介助を行っている。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に午後からの入浴となっている。入浴についてはスタッフが決めてしまわず、入居者全員に声をかけて意向を確認している。希望者は毎日でも入浴して頂ける。又、希望者がいれば、週に1度同施設の大浴場を利用することができる。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	食後や外出後等で傾眠が続いたり、倦怠感を感じられているような際は、夜間の睡眠に影響を及ぼさない範囲でベッド臥床して頂いている。 また、夜間の臥床時間は個々に合わせまちまちである。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者ごとに得意分野を活かした役割やお手伝いをお願いしている。作業後は必ず感謝の言葉を伝え、達成感や喜びを感じていただけるよう支援している。 又、希望時は散歩や買い物へも付き添いを行っている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理については困難である方が多く、同意のもとに金庫にてお預かりしている。外出時には支払いの際にご自分でお金を取り出していただくようにしている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日や希望のある際は、ドライブや買い物へ出かけたり、玄関ポーチや関連施設へ散歩にでることで外気に触れる機会を作っている。		本人の行きたい場所を探りながら、外出を好まれない方にも繰り返し働きかけていきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者からの希望はあまり聞かれないが、季節ごとにドライブや買い物、食事等の外出計画を立て、楽しんで頂いている。 又、年に2度は家族等も共に参加できる機会を持っている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が単独で電話されることは困難であるが、希望がある際や必要性を感じる際は職員が取り次ぎを行い話をして頂いている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問してこられた方々が、ゆっくりとお話できるよう面会時間は定めず、居室や和室、食堂等で自由に過ごしていただいている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内研修を実施し、身体拘束の内容や基準を学んでいる。体の拘束はもちろんのこと、言葉による拘束が行われていないか、職員同士でチェックしあっている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵を閉めることはない。玄関の施錠については、防犯・事故防止のため、夜勤スタッフが1人になってからの時間帯に行っている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	頻繁に玄関ホールへ出られる方等に対しても、無理に引き止めることはせず、職員が声を掛け合って見守りを行っている。個々の所在確認については常時行うようにしている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険を伴う物品(包丁や洗剤等)は目の届かないところで管理を行っているが施錠はしていない。使用については全てを制限することはなく、職員付き添いの下、使用する機会を持っている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急処置や応急手当についてはマニュアルを作成し、配布している。又、事故が起こってしまった際は「ひやりはっと」を記入することで事故の状況を把握、事故が起こってしまった原因や予防策等を検討している。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の応急処置や連絡手順についてはマニュアルを作成し職員に配布、ミーティング時には入居者個々の急変の可能性について話し合っている。定期的な訓練は行っていない。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署・設備点検会社の協力を得て、消防・避難訓練を実施している。 緊急時には すぐに関連施設の協力を得られる体制を整えている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族等とは連絡を密にし、起こりうるリスクについて説明を行っているとともに、どうすれば本人に負担なくリスクを軽減することができるか話し合いを行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日・適宜のバイタルチェックとこまめな状態観察を行っている。体調変化がある際は申し送り等で職員全員が状態を把握し、継続して観察・処置が行えるよう配慮している。又、早期受診を心がけている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は介護記録とともにファイルし、いつでも確認できるようにしている。 また、副作用等についてはその都度職員へ申し送りし、状態の観察に努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を利用し、個々の排便ペースを把握している。便秘予防については、水分を多めに摂取していただいたり、運動や食物繊維を多く含む食物等でできるだけ自然に排便できるよう努めているが、下剤を服用されている方は多い。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	介助が必要な方については本人に行って頂いた後、職員が確認し、不十分な箇所の介助を行っている。 又、異常がある際は歯科往診時に相談・診察をお願いしている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の献立については、関連施設と同メニューであり、栄養管理ができています。食事量や水分摂取量についてはおおまかな摂取量を把握・記録している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策のマニュアルがあり、作業ごとの手洗い消毒・うがいを徹底している。 又、インフルエンザについては家族等の同意を得て、毎年予防接種を実施している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等については毎日消毒(除菌・熱消毒)を行っている。 又、調理を行う職員・入居者は事前に手洗い消毒を行う、清潔なエプロンを使用する等、衛生面に配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関ポーチにはベンチや季節の植物を配置し、訪問しやすい雰囲気作りに努めている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食卓にはできるだけ季節の花や緑を絶やさないようにしている。又、日差しの強い際はよしずを立てかけ対応している。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースにはソファーや和室があり、思い思いの場所で過して頂ける。又、窓際や台所等、その方が「今」過ごしたい場所へ椅子をお持ちし、過ごしていただいている。		

グループホーム 玄海の森

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスとカーテンは備え付けとなっているが、それ以外のものはできる限り自宅で使いなれたものを持ち込んでいただき、ホッとできる空間作りに努めている。仏壇を持込まれている方もいる。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気システムを備え付けており、掃除時や食後等にも随時換気を行っている。 室内の温度については、状況に応じてこまめに調整を行い、衣類調整も勤めている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室、トイレには手すりが設置されており、バリアフリーとなっている。又、ホーム内は車椅子を使用しても不便が少なく、生活しやすい広さとなっている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	食事や排泄等の生活の場面では、混乱や不安を招かないよう、個々の力に合わせた声かけ・セッティングを行っている。 (食器の位置をこまめに変える・動作の声かけは一つずつ行う等)		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関ポーチにはベンチを設置、中庭にもウッドデッキが設置されており、自由に日光浴や夕涼み、散歩ができる。		

グループホーム 玄海の森

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 玄海の森

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

ホーム内に閉じこもってしまうことのないよう、週に1度は外へ出かける機会を作っている。 重度化してもできる限りホームで暮らしていくことができるように、個々